

# リビール™ 3-D 小麦アレルゲンイムノクロマトキット

## キット構成

品目	数量	保管方法
テストストリップ (Test devices)	10個	2-8 °C
抽出緩衝液 (Extraction buffer)	10本	2-8 °C
スワブ湿潤液 (Swab wetting solution)	1本	2-8 °C
滅菌スワブ	10本	—

※ キットの内容物はすべて使用前に室温 (18~30°C) に戻してからご使用ください

※ 食品検体を用いる場合は、別途リビール™ 3-D 食品検査用緩衝液小麦用 (カタログ製品番号: 8503) が必要です

※ 小麦アレルゲン以外のリビール™ 3-D 食物アレルゲンイムノクロマトキットは別の専用説明書をご確認ください

## 操作手順

### 食品検体



1. 50 mLチューブに、リビール™ 3-D 食品検査用緩衝液小麦用を20 mL (液体検体の場合は18 mL) を加えます



2. 検体2 g (液体の場合は2 mL) をチューブに加えます



3. キャップをしっかりと閉め、1分間振とうします



4. 付属の抽出緩衝液1本に検体800 µLを加えます



5. フタを外し、チューブ内の液体を入れて満たします



6. フタ内の液体にテストストリップを浸します



7. 液体がテストウィンドウを上昇しているのが確認できたら、平らな場所に置き、5分間待ちます

## 環境検体（ふき取り）



1. 検体を採取します。乾燥した表面の場合はスワブ湿潤液で湿らせます（湿った表面の場合は不要）



2. スワブを抽出緩衝液1本に入れ、スワブ先端を折ります



3. キャップをしっかりと閉め、1分間振とうします



4. フタを外し、チューブ内の液体を入れて満たします



5. フタ内の液体にテストストリップを浸します



6. 液体がテストウィンドウを上昇しているのが確認できたら、平らな場所に置き、5分間待ちます

## 環境検体（リンス水）



1. 付属のチューブにType8 抽出緩衝液を加えます



2. 検体を0.25 mLチューブに加えます



3. フタを外し、チューブ内の液体を入れて満たします



4. フタ内の液体にテストストリップを浸します



5. 液体がテストウィンドウを上昇しているのが確認できたら、平らな場所に置き、5分間待ちます

## 判定方法



T=テストライン  
O=オーバーロードライン（高濃度陽性ライン）  
C=コントロールライン

## オーバーロードライン（高濃度陽性ライン）による高い信頼性

イムノクロマト法によるアレルゲン検査では、検体中の汚染濃度が非常に高い場合、テストストリップが過負荷となり、偽陰性が生じることがあります。本キットではオーバーロードラインを採用しており、高濃度による偽陰性反応を容易に識別できます。

①	Cにラインがあり、O・Tにラインが認められない場合	⊘	再検査推奨*
②	C・O・Tすべてでラインが認められる場合	(+)	陽性
③	C・Oにラインがあり、Tにラインが認められない場合	(-)	陰性

\*左図①のようにコントロールラインが認められるものの、オーバーロードラインが認められない場合、試験結果は有効ですが、必要に応じて試料を希釈した上で再検査を実施することが推奨されます。